

ギリシャにおけるウエストナイル熱の感染増加

2026 年 8 月 17 日

在ギリシャ日本国大使館

ギリシャで、蚊が媒介するウエストナイル熱（West Nile fever）の感染者数が増加しています。（ギリシャでは 2010 年以降ほぼ毎年感染例が報告されており、主に夏から秋にかけて流行が見られます。）

ギリシャ保健機関（EODY）の発表によると、2026 年の流行開始（6 月）から 8 月 12 日までに、アッティカ県を中心に国内で 110 件の感染例（うち死亡者 9 名）が報告されており、当局は注意を呼びかけています。

【ウエストナイル熱について・対策】

- ・ほとんどの人（約 80%）は無症状ですが、発症すると、発熱、頭痛、筋肉痛や、時に発疹、リンパ節の腫れが見られます。

- ・重症化すると、激しい頭痛、意識障害、痙攣、筋力低下、麻痺などが出現し、さらに症状が進むと亡くなる方もいらっしゃいます。

- ・治療法は、対症療法しかなく、ワクチン也没有ありません。

- ・防蚊対策が重要です。蚊に刺されないよう、外出時は長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレー（※）を使用するなどの対策をしてください。

※ディート（DEET）30%またはイカリジン（Icaridin）15%配合のものを推奨、子供はイカリジンが使用しやすい（ディートは、年齢・回数制限あり）

参考：教えてドクター【虫さされ】<https://oshiete-dr.net/mushi/>

- ・蚊に刺された後に上記の症状が出た場合は、早めに医療機関を受診するようにしてください。

（参考）

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000154953.html>

世界保健機関（WHO）

<https://www.cdc.gov/west-nile-virus/about/index.html>

ギリシャ保健機関（EODY）（感染者数等発表（ギリシャ語））

<https://eody.gov.gr/el/>

ギリシャ保健機関（EODY）（予防対策（ギリシャ語））

https://eody.gov.gr/images/nosimata/metadotika/fulladio_WNV_2021.pdf

在ギリシャ日本国大使館（領事部）

Embassy of Japan in Greece

46, Ethnikis Antistasseos St., 152 31 Halandri

TEL : 210-670-9910, 9911 FAX : 210-670-9981

H P : <http://www.gr.emb-japan.go.jp>

e-mail : consular@at.mofa.go.jp